

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区興本地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月6日 【評価委員会】令和7年8月15日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員会	
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	23.0 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】障がい者の方も気軽にロビーコンサートに参加できるよう、車椅子スペース、介助者用スペースを新設した。また、社会教育担当者の資格を更新(社会教育士の称号の取得)し、講習で得た知識を他責任者に共有することで、スキルアップに努めた。利用者からの要望、疑問等に誠実かつ迅速な回答を行うよう心がけている。改善が必要な場合、所内で改善案を考え、迅速に対応している。トラブルとなりそうな問題は所管課に報告、相談し、対応している。			
			【改善すべき点・課題等】勤続年数が長い職員が多く、高い水準の接客レベルが保たれているものの、新たな人材の確保と育成が課題と感じている。			
		区 記入欄	【特記事項】項目1について、車椅子スペースの確保および参加者の方への周知を徹底したことで誰もが気持ちよくコンサートに参加できる環境作りに取り組んでいる。取り組みを評価し、水準点に1点加点する。項目3について、社会教育士の資格を取得し、施設運営や事業企画に生かせる知識を習得した点で水準点に1点加点する。今後の具体的な活用に期待する。			
		評価 委員 記入欄	【評価すべき点】車椅子スペース等の設置は重要であり、周囲の参加者にも「譲り合い」を意識させる良い取り組みである。また、本館と別館が別棟といった管理の難しさに対し「ながら巡回」などの工夫がなされている。「社会教育士」の称号取得を促進している点も評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
	B 安全性 の 確保	施設の安全性は確保されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員会	
		1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	5.0	3.0	15.1 (満点20点)
		2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0	
		3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	4.0	
		4	危機管理(防災・防犯・事故対応)が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	5.0	
		指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】過去の不具合を参考に、時期に応じて必要な施設維持管理を徹底している。不具合が発生した場合や業者の点検などは連絡ノートを活用して情報共有し、施設保全責任者不在でも対応できる環境としている。新たに施設管理専用の施設不具合履歴記録表を作成し、施設管理を強化したほか、盗電防止対策(鍵付コンセントカバー取付)も実施した。			
			【改善すべき点・課題等】改修工事終了館ではあるが、軽微な不具合や設備の不具合が増えている。計画的に進めているがエアコンなど突発的な修理対応もあった。区所管課と連絡・相談を欠かさず重大な案件にならないよう密に連携していく。			
		区 記入欄	【特記事項】項目1について、不具合履歴の詳細をまとめた記録表の作成については、施設管理における通常業務の範囲内と判断し水準どおりとする。シートを活用し迅速な修繕対応に努めてほしい。項目3のトイレを長時間占有する事例への対応について、トイレは個室で目視確認ができないため「いたずらにご遠慮ください」といった掲示をしたが、コンセント抜き差しの痕跡があったため、盗電防止のためカバーを設置したという経緯がある。盗電は明らかではないが、いたずら防止の取り組みを評価して水準点に1点加点する。項目4について、リーススペースの机を透明なビニールシートで覆い、物理的に落書きできないようにしたこと落書きを防止した点を成果と捉え、水準点に2点加点する。			
		評価 委員 記入欄	【評価すべき点】良好な勤務環境を確保することを目的としたセンターカウンターへの防犯カメラの設置や、盗電防止のための鍵付コンセントカバーの設置など、水準以上に施設の安全性、快適性を確保したことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

C 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3.0	3.0	9.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】個人情報保護ならびにコンプライアンスにつき、休館日の機会を活用して全職員を対象とした研修を実施している。また、閉館時、当館独自のチェックシートに基づき個人情報に値する書類を施錠保管している。当社の個人情報保護理念、方針に関する文章を事務室内に掲示している。			
		【改善すべき点・課題等】研修を充実させ、統括責任者以外の責任者も、統括責任者同等の知識を蓄え、意識を高めることが重要であると感じている。			
区記入欄	【特記事項】個人情報保護およびコンプライアンス遵守に努め、個人情報漏えい等の事故は発生していない。引き続き研修により適切な運営を心掛けてほしい。				
	評価委員記入欄	【評価すべき点】法令等の遵守は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支 (12,171千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】】窓口業務における金銭の收受や翌日納金業務（区歳入や指定管理者収入）を遅滞なく行っている。消耗品や備品購入の際は複数の業者で料金を比較し、費用を縮減できるよう努めている。			
		【改善すべき点・課題等】慣れは油断や思い込みを招き、ミスを誘発する。再教育のための研修やヒヤリ・ハット活動（作業中にヒヤリとした事例を話し合う）を実施することで、区民からの信頼を失墜する対応とならないよう、慎重かつ正確に業務に取り組んでいく。			
	区記入欄	【特記事項】問題なく運営できている。今後も研修によってミスが発生しないよう努めてほしい。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】財務、財産管理は適切に実施されている。講座収入は黒字を計上できている。 【改善すべき点】 【その他注意点】		

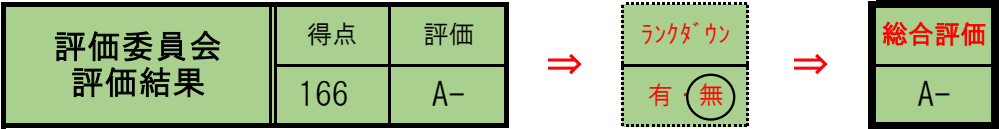
大項目		中項目	確認項目				
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか	評価点				
			指定管理者	担当課	評価委員		
			1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	4.0	4.0	18.0 (満点20点)
			2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	4.0	
			3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0		
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】区民が気軽に生涯学習に取り組めるよう、サービス（安価な受講料、託児付きなど）向上に努めた。また、生涯学習をはじめるきっかけ講座として、タイムリーな競技（パリオリンピックで追加されたブレイキン）や有名人（あらぼん）を招いた講座を実施し、定員以上の申込があった。センター利用促進に向けて、令和6年7月よりInstagramを開設した（令和7年3月末現在フォロワー数31人）。新たな試みとして、ミニコミ紙において「おきもとクーポン（紹介したお店の割引クーポン）」を実施し、地域商店の活性化に努めた（クーポン利用94枚）。掲載された商店から、お客が増えたなどの好評の声をいただいたほか、他商店から掲載依頼が届いた。近隣の学校（東京朝鮮第四初中級学校）と連携し、センターロビーで美術部生徒の作品展覧会を実施した。691人が鑑賞し、学校より区民の声で感謝の言葉をいただいた。				
			【改善すべき点・課題等】ミニコミ紙（OKIMOTO Walker）7月号に日程の誤植（1講座）があった。日時変更は、担当が共有を失念してしまうと、誤っていることに気づくのは困難である。共有を失念しないためのルールの見直しおよび共有を失念しても気づくことができる仕組みの明確化が課題である。老若男女の健康増進や習い事を目的としたスポーツ系の講座は充実、定着している。一方で、語学系なども開催しているものの、定着までは至っていないため、課題と感じている。				
		区記入欄	【特記事項】項目1について、ミニコミ紙で日程を間違える誤植が発生した。日程の間違いは重大な事故と判断し、水準点より1点減点とする。今後は体制を見直し、再発防止に努めてほしい。一方で、利用促進の取り組みとして、近隣商店のクーポン付きミニコミ紙を配付した。クーポンの利用も多くありセンターの認知度および近隣商店の活性化にも繋がった点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、子育て世代のニーズに応える託児サービス等の取り組みを実施した。参加者数が大きく増加している点は評価するが、新規利用者（初講座参加者含む）の割合は15%程度にとどまっているため、水準点に1点の加点とする。項目3について、小学生対象講座を充実させ、オリンピックで話題となったブレイキン、著名人が講師のひょうたんアートなどの講座を実施し、多くの小学生に体験機会を提供しており、水準点に2点加点する。項目4について、フルート講座受講者向けの発表会を企画し、学習意欲向上およびリピーター確保がなされているため、水準点に2点加点する。				
		評価委員記入欄	【評価すべき点】クーポン付ミニコミ紙の発行、多数の講座開設など効果的な取り組みを行っている。また、小学生を対象とした講座の充実についても評価する。 【改善すべき点】ミニコミ紙での日程間違いの誤植が発生した。重大な事故であり改善が必要である。また、語学等の文化系の講座の定着に検討の余地がある。 【その他注意点】				

	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
B 学習支援の取り組み	1 生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	5.0	4.0	14.1 (満点15点)
	2 区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3 地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】登録団体の会員募集を促進するため、サークル支援講座を開催し、加入希望者には、サークル加入時に必要となる物品をセンターがプレゼントした。区内のNPO法人 けだ・まもと、区内の音楽家達と連携し、動物愛護チャリティーイベントを無料で開催（出演料は指定管理者が負担）。集まった募金は、NPO法人 けだ・まもとに全額寄付した。児童養護施設クリスマス・ヴィレッジと連携し「若者の消費者トラブル講座」を開催し、感謝の言葉をいただいた。ギャラクシティで開催される音楽イベントのオープニングアクト選考イベント（限定5名）を興本センターでも実施した。演奏能力が高い地域人材を新たに発掘し、5ヵ年計画「興本音楽フェスティバル」で演奏を披露した。日本語ボランティア団体こんばすと連携し、日本語を教えるボランティア育成講座（ボランティア講師体験会）を実施した。3名が参加し、1名がこんばすの活動に定期的に参加することとなった。足立区内の在住外国人が増えており、こんばすの活動は重要であるため、活動が継続できるようにセンターとしてできる限りのサポートをした。		
区記入欄	【改善すべき点・課題等】高齢化を始めとした諸般の事情により活動の縮小や中止を余儀なくされるサークルがいた。定期的にサークル支援のご案内をしていくほか、登録団体とコミュニケーションを取り、支援講座の提案をしていくなど、センターが積極的にサポートをしていくことが必要だと考えている。			
評価委員記入欄	【特記事項】項目1について、サークル加入をためらってしまう方に向けてスターターキットを渡したことで2名のサークル加入につながったが、加入者数が達成目標に達していないため水準点に1点の加点とする。サークル支援講座実施前にスターターキットプレゼントの周知を実施するとより効果的であったと感じる。項目2について、区内で動物の保護活動をしているNPO団体と連携し、チャリティーコンサートを開催した。参加者も多く、活動内容を知る機会にもなり、募金にもつながっている点を評価し、水準点に2点加点する。項目3について、日本語ボランティア団体の活動支援を行い、300名近い在住外国人の方が利用した点で、水準点に2点加点する。今後も在住外国人の方向けの支援を期待するとともに、ボランティア育成にも力を入れてほしい。			
	【評価すべき点】スターターキットの配布、チャリティーコンサートなどの積極的な活動が行われている。また、日本語ボランティア団体に対して、ボランティア講師体験会の実施による人材発掘、用具貸出や会場設備の協力など、大きな活動支援を行った点を評価する。 【改善すべき点】中止や活動縮小を余儀なくされているサークルへの支援が課題である。 【その他注意点】			
C 図書館事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2 読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】図書館テラスにプレイマットを敷きゆったりとくつろいで読書ができる空間を用意した。またその場所で、読書からスポーツへの関心を促すプログラム（3分野連携事業）として、ヨガ講座を開催した。興本センターで活動している日本語教室の在留外国人向けに図書館ツアーを企画し、館内の案内や図書館の利用方法、カード作成を英語で説明した。貸出数に応じてパーツを貰える「スイーツ手帖」や「みんなdeアート」を通年で用意し、貸出数増加に繋げた。		
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】「夏場の冷房が効き過ぎて寒い」とのお声をいただいたが、館内温度を適温に保持するよう巡回時（日に6回）に温度確認し調節している。風向き等で冷風が強く当たってしまう場合があるため今後、寒い場合は席の移動を促すポスターを掲示する。		
評価委員記入欄	【特記事項】テラスを利用してスポーツをしながら読書を楽しむ企画や、国立国会図書館が運営するサイトでも取り上げられた汚破損本の展示企画などは、図書館のPRや利用者の読書推進、利用マナー向上に寄与している。また、夏休みの子どもフリースペースなどを活用した工作を絡めた各種イベントでは、子どもや親子連れの利用者から好評であり、関連資料の貸出率もよく、読書推進にも繋がっている点を評価する。			
	【評価すべき点】おきもと夏まつりの会場を拡大しての実施は親子連れを呼ぶ企画で良い事業である。また、汚破損除籍した資料の展示企画が国会図書館のHPでも取り上げられるなど活動が広く知られた点が評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の 状況	1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設45%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値 53.3%（前年度利用率+3%）	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数(160,320人) ※基準値/143,028人 貸出冊数(219,755冊) ※基準値/218,278冊	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】センター：一般団体予約時の柔軟な接客（対応）、受付方法や支払い方法を変更した気軽に参加できる夜間講座（仕事をしている方向け単発講座）を充実させたことで、本年度の利用率は53.5%となり、目標値（前年度利用率+3%）を達成することができた。 図書館：子どもフリースペースのイベント開催やおきもと夏まつりなど普段図書館を利用しない子どもたちでも楽しめるイベントを企画したことにより来館者数が去年より増加した。また図書館テラスでの「ゴロゴロタイム」を開催し居心地の良い空間づくりをしたところ親子連れの来館者数増加に繋がった。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】サークルが活動を継続できるように支援していくほか、各室をソーシャルメディアなどで積極的に紹介（アピール）し、新たな利用者が増えるよう努めることが必要だと考えている。 図書館：貸出の延長期間が1週間から2週間に延びたため貸出冊数が低迷している。今後はセンター講座と連携した特集棚を講座内で設置するなど普段図書館を使わない利用者を積極的に取り込み貸出数増加に繋げる。			
	評価委員記入欄 【特記事項】項目1について、学習施設利用率は前年度より3.2%上昇した。特に、夜間の利用に関して、働き世代の講座参加を目的に「アロマヨガ」や「燃焼系ピラティス」などを新規に開催した効果もあり、夜間利用率を4.2%向上させた。働き世代が参加しやすいように単発講座とし、当日申込みも可能とした結果、仕事後に参加される方も増加させており、水準点に2点加点する。項目2について、利用者前年比増加率及び貸出冊数前年比増加率ともに加点基準を達成したため、水準点に2点の加点とする。			
E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
	指定管理者記入欄 1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	区記入欄 【アピールポイント】センター独自のチラシを作成し、ミニコミ紙に挟み込むなど、事業PRに尽力した。参加するだけの事業でなく、何かを作り持ち帰るなど、形として残る事業も実施した。事業参加者に他事業無料参加券を配布するほか、事業終了後、直ぐに他の事業を開催するなど利便性にも考慮し、事業に継続して参加していただけよう工夫をした。			
	評価委員記入欄 【改善すべき点・課題等】昨年と比べ今年度におけるLINE登録者数の増加数が少なかった。情報を広く伝えるためには、情報を発信する分母を大きくする必要がある。積極的に来館者、事業参加者に声掛けするなどをして行くことが必要だと考えている。			
	【特記事項】3分野連携講座に参加することでポイントを付与し、ポイントを集めるとサコッシュをプレゼントすることで継続参加を促した。また、ポイント付与に合わせて興本センターで開催している3分野プログラムを一覧にした冊子を配付したことで参加したい講座を探しやすくなった結果、より多くの方が3分野プログラムに継続参加できたと思う。また、新規目玉事業（チャレンジ事業）として、文化→読書の関心喚起プログラムを実施。育て方の本などを参考に、家で蚕を育ててまゆ玉指人形を作る内容で、自由研究や工作の要素があり、ターゲット層である子育て世代の興味関心が高かった。育てた成虫をミニコミ紙で紹介までできた点も評価する。複数の取り組みによる成果があったと判断し、水準点に2点加点する。			

5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか （評価点×3）		評価点×3			
		指定管理者	担当課	評価委員	
F 主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			26.7 (満点30点)
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】興本音楽フェスティバル実行委員会を結成し、事前の準備やPR、当日の進行まで、実行委員が主体で実施した。土日に開催をしている興本ストリートピアノから新たな人材を発掘した。演奏者9組51名が出演し、7つのプログラムで構成した。各イベント100名以上の観客が参加し華やかなイベントとなった。プロだけでなく、学校のプラスバンド部、バイオリン講座の受講生、さらにストリートピアノでスカウトした小学生も参加し、どの回も拍手が鳴りやまなかった。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】令和7年は規模を拡大し、エントランスロビーから体育館での実施となるため、プログラムの大幅な変更が必要となる。イベントが終わったばかりであるが、既に実行委員会と会議を始め、意見を交換している。			
	評価委員記入欄	【特記事項】実行委員会を中心に運営準備を進め、第1回音楽フェスティバルを開催することができた。3年間かけて関係を築いてきた演奏者9組に出演していただき、エントランスホールでは人があふれてしまうほどの参加者を呼び込むことができた。来年度はさらに規模を拡大させたイベントとなるため、今年度の反省を大いに生かした素晴らしいイベントを期待する。			
		【評価すべき点】第1回音楽フェスティバルを開催し、計画した事業を着実に実施している。音楽フェスティバルが地域交流の場となり、センターが目指す「人々の活動を応援する事業」となっている。このように、参加者（演奏者）が地域に公表される形での事業の実施は、モチベーションの維持や施設の広報活動につながると思われる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	利用者の満足を得られているか（評価点×2）		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.2 (×2)	33.0 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.6 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.1 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.6 (×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】スタッフの受付・接客対応、施設の清潔感、設備について、感謝の言葉を数多くいただくことができた。現状に満足せず、より多くの利用者に感謝の言葉をいただき満足していただけるよう、研修などを通じて接客レベルを追求していきたい。			
区記入欄	【改善すべき点・課題等】主に別館（体育館、トレーニングルーム）からの要望が多く、指定管理者だけで解決できない意見が多いことから、区所管課へ連絡・相談を欠かさず、重大な声とならないよう密に連携していく。				
評価委員記入欄	【特記事項】感謝の声が多く、センターに対する満足度も高い水準を保っているが、全項目において昨年度より「満足」の割合がやや低下している。別棟となっている体育館・トレーニングルームについては、巡回を強化することで改善に努めてほしい。				
		【評価すべき点】適切な運営がなされている。特に施設の清潔さに関しては学習センター、図書館ともにおおむね高い評価が得られている。 【改善すべき点】 【その他注意点】要望が多いことは、関心を大いに持たれている意味で良いと考える。			
合計点			115.0 (満点130点)	139.0 (満点=170点)	166.9 (満点=200点)
特記事項 （評価委員会による総合評価を記入）	多くの魅力的かつ効果的な取り組みが実施され、施設利用者を着実に増やす運営がなされている。また、地域の特性を生かしながら連携を築き、多様な立場の方向けの講座を企画している点も大変評価できる。児童養護施設の入居者向けの取り組みは、今後も継続発展を期待する。さらに、主要事業として設定した音楽フェスティバル開催は、着実に計画した事業を実施しており評価したい。				

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-A項目1における減点事項について、ミニコミ紙の講座開催日に関する誤植は区民への影響が大きく、再発防止の徹底を求める。

＜評価委員会評価基準＞

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」…評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。